

受付番号

22

承認番号

大歯医倫 第 110900 号

研究課題名

臨床実習における歯科衛生士学生の不安の変化 -臨床心理士による精神的支援の効果-

研究責任者

田中 昭男

申請者

田中 昭男

研究終了日

平成 31 年 3 月 31 日

所属

大阪歯科大学

所属

大阪歯科大学

歯科衛生士専門学校

歯科衛生士専門学校

職名

校長

職名

校長

申請の概要

医歯学系の臨地実習（臨床実習を含む）に対する学生の不安は常に存在している。近年、精神的に繊細な学生が増え、ストレスからうつ傾向になる学生も少なくない。そこで、平成 25 年～26 年に 2 年生と 3 年生（37 期生、38 期生、39 期生）を対象として歯科衛生士臨床実習における個々の学生に性格、ストレスコーピング、不安に関する検査（モーズレイ性格検査・ラザルス式ストレスコーピングインベトリー・STAI）を実施し、性格等の特性と不安の変化を検討した。さらに、不安の強さの異なる学生を無作為に抽出し、臨床実習中の QOL の自己評価を測定（SEIQoL-DW）することで、臨地実習開始前・開始後・終了時における不安の変化と QOL の変化を明確にした。その結果学生には全期間にわたる精神的支援が必要であることが示唆された。本研究は 41 期生（平成 28 年度 2 年生）を対象とし、2 年次に行う臨床見学実習終了後及び 3 年次に行う臨床実習期間に臨床心理士による精神的支援を行うことで不安の強さの変化を明らかにすることを目的とする。本研究により、臨床実習における更なる教育効果の向上が期待できる。